



株式会社 岩手銀行 山田支店

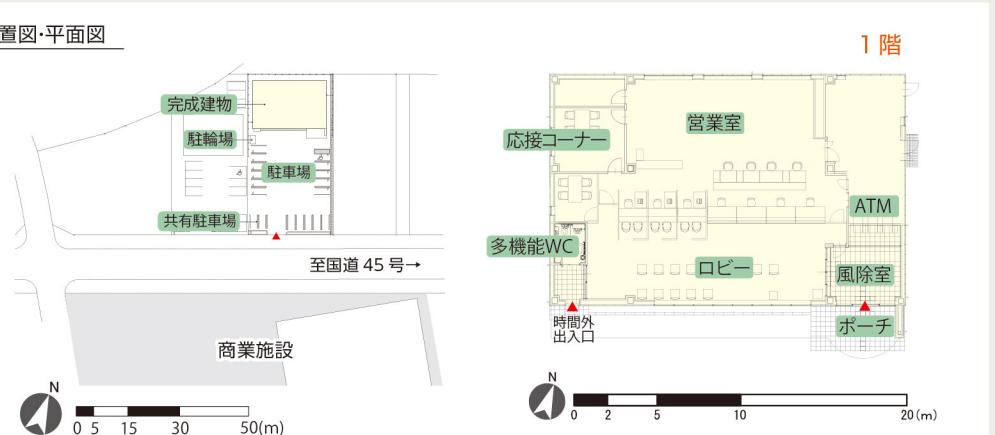
施工地／岩手県下閉伊郡山田町中央町15番5号
竣工年月／平成29年10月
敷地面積／1,182.74m²
延床面積／491.01m²
構造／鉄骨造2階建
無料駐車場／18台(内共有駐車場7台)

にぎわい再生の街の顔として

岩手県山田町は岩手県沿岸部のほぼ中央部に位置しており、東日本大震災において町の中心部は大津波とその後の火災により、壊滅的な被害を受けました。あの日から6年8ヶ月以上が過ぎてもなお、町を津波から守る防潮堤のかさ上げなど復興事業もまだまだ道半ばではありますが、三陸自動車道の開通延伸や2019年のJR山田線復旧(宮古～釜石間)、三陸鉄道への移管など、徐々に町の未来図が実現へ動き始めております。

山田町では鉄道駅の陸中山田駅を中心とするにぎわいの街づくりを進めております。この度の株式会社岩手銀行山田支店様の移転新築はその街づくりをリードする事業でもあります。本施設は町の中心部に岩手県内の地元金融機関支店を集約した都市計画地エリアに、近隣商業施設と共有する駐車場を設けました。中心商業施設と隣接した立地により、すべての利用者様にも利便性を提供することができ、誰にでもより親しまれる岩手銀行山田支店様として、これから地域経済を支えていきます。

配置図・平面図



頑強にして快適な施設設計

本施設の建築にあたりましてはPHCコンクリート杭により、山田町が位置するリアス海岸の内湾の堆積地を貫き、深さ30mの支持地盤までΦ350～500のパイプを12本打ち込んで東日本大震災後の4mのかさ上げ造成地上の建築物を頑強に支持しております。

立地は商業施設に隣接しているため、敷地外から建物内に至るまで徹底してユニバーサルデザインとして、来店される利用者の動線に障がいがない利便性の高い設計をいたしました。建物内部はご来店いただいたお客様に利用しやすいよう、わかりやすい明確なレイアウト構成とし、より親身なお客様対応ができるローカウンターを設置しました。

また、災害による緊急非常時においても、業務継続を可能にするために自家発電装置を設置して危機管理にも対応しております。

あらゆる環境に優しく

自然環境に対して本施設は、外部壁面のガラスをLOW/E仕様の複層ガラスと、LED照明を積極的に導入して室内環境の快適性を向上させております。また景観面におきましても華美な装飾や景観を損なわないよう原色の色遣いを避けて、地域に溶けこみやすいトーンの色調を採用して岩手銀行様のカラーを継承した色彩としました。



店舗内まで段差がなく
点字ブロックで導くアプローチ



お客様をお迎えし、
商品、サービスをPRするロボット



明るい色調で、ローカウンターも
設置したロビー



オストメイト対応でどなたでも快適に
利用できる多目的トイレ



緊急非常時の業務継続体制に備える
屋上に設置した自家発電装置